

2025年7月3日

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

ESG 説明会質疑応答要旨

ESG 説明会における質疑応答(要旨)を記載しております。ご理解いただきやすいように内容の一部を加筆及び修正しております。

質問 1. 【人的資本経営】多様な人財が集まる中で、従業員のモチベーション向上のために現場の運営で工夫していること、管理職が意識する点、今後の施策を教えてほしい。

- 現場の運営で工夫していること
 - ✧ 採用で重要視しているのは学歴ではなく、個人の強みや源流の精神(主体性・挑戦の精神・成長意欲・負けず嫌い等)を体現する人財かどうか。
 - ✧ その上で、権限委譲の文化により多くの競争原理が働いていることがポイント。
 - ✧ 各店舗でさまざまな施策や取り組みを実施する中で、成功も失敗も数多く経験し、良い点は他店にも横伝播させながらお互い切磋琢磨していくことが、やりがいやモチベーション向上につながっていると考える。
- 管理職が意識する点
 - ✧ 管理職の側面では、コミュニケーションをしっかりと行い、メンバー・部下の挑戦や成長を支援し、寄り添うことを意識している。
 - ✧ その際には、「失敗は次の成功のための練習」と捉えられるよう、相手の立場に立って良かった点・伸びしろを伝えるようにしている。結果として高いモチベーションにつながっていると考える。
- 今後の施策
 - ✧ 女性従業員がインポスター症候群に陥らないよう、できていることはしっかりと自己評価し、新しいことに挑戦するマインドを醸成するような取り組みを今後も実施していきたい。

質問 2. 【サプライチェーン・マネジメント】現在は PB/OEM 商品を対象に取り組みを実施しているが、PPIH のシェア率が高い NB 商品に対する今後の対応の考え方を教えてほしい。

- 現状は PB/OEM 製造委託先に集中しているが、今後は PPIH のシェア率が高い NB

商品に対する取り組みも実施していきたいと考えている。

質問3. 【環境】売上高あたりのGHG排出量が、他の小売各社と比べるとまだ高い水準と感じているが、要因は何か。

- 自己分析となるが、営業時間の差や業態コンセプト(Convenience、Amusement)により店内演出で使用する機器(スポットライト等)が他社より多いと考えているため、相対的に高い水準となっていると分析している。
- PPIHグループの年間総排出量のうち9割以上がScope3であり、かつ大半をカテゴリー1が占めている状況。商品製造・調達に関わるお取引先さまも非常に多いが、6月にパートナー説明会を実施し、排出量算定の支援もスタートした。お取引さまの理解を得ながら、一緒にScope3削減を進めていければと考えている。

以上